

子どもの本だな 140

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

たんたのたんてい

中川 李枝子 さく 山脇 百合子 え
(学研プラス)

たんたは元気な男の子です。たんたの仕事は、お父さんに新聞を配達することです。

ある日曜日の朝、たんたが郵便受けをのぞくと、新聞はなく、でこぼこの使いかけチューブが入っていました。

虫眼鏡で調べると、「に・じ・は・がき」と消えかけた文字があります。「これは」にんじんはみがきだ！にんじんを好きなのは…うさぎのギック！と、さっそくギックの家に行きました。

ギックが見てみると、はみがきがあるはずの棚に、かゆみ止めのチューブがありました。虫眼鏡で調べると、猫の毛と鱗が付いています。「魚屋のウオミケだ！」2人は魚屋に行きました。すると今度は、かゆみ止めがあるはずの場所に、からしのチューブがあり…。

虫眼鏡片手にチューブの謎を解き、持ち主を推理するたんたと一緒に探偵している気分を味わえます。明るい挿絵や見開きいっぱいので図が、お話を一層楽しくしています。ほかに『たんたのたんけん』があります。読んでもらえば4、5歳から。
(池之上)

図書館の本棚 467

ハリウッドのプロデューサー、英国の城をセルフリノベする

ホップウッド・デブリー 著 村井 理子 訳 亜紀書房 (5233)

ある夜、ハリウッドの映画プロデューサー兼俳優である著者は、ロサンゼルスハリウッド・ヒルにある自宅で、リラックスしたワインタイムの習慣として、家系図サイトを閲覧していた。そこで、幼い頃に祖父や両親から聞かされた、先祖がかつてイギリスに持っていたという大きな城「ホップウッド・ホール」が実在することを知る。城をひと目見たいと、右も左も分からない状況で、イギリス北西部グレートマンチェスターのロッチデール自治区ミドルトンに向かう。

城を案内してくれたのは、この建物の存続のために、長年にわたり尽力してきた歴史家であり葬儀屋のジェフと、ホールの管理人であり職人のボブ。歴史的建造物であるホールは立派だがボロボロな状態で、維持するために何もしなければ5年から10年で崩壊するという。修復プロジェクトとしてホテル開発計画の話もあったが、土地に関する隣人トラブルで消滅する。2人の情熱と城の美しさに心を打たれた著者は、城を修復するため、アメリカでのキャリアを捨て、イギリスに移住する。だが、修復プロジェクトは決して簡単な道ではなかった。抜け落ちそうな床板や崩壊寸前の天井、2、710枚の割れた窓ガラス、雑草だらけの庭園…の修復。それにかかる莫大な修理費用に維持費等、課題は山積みだ。さらに、豪雨での浸水被害や侵入者による建物の破壊等、様々な困難がふりかかる。そんな中でも、諦めることなく、一歩ずつ作業を進める著者の姿に地元住民も徐々に心を開いていき、修復に協力的になっていく。そして、複数の歴史的建造物の保護を行う財団から助成金を得ることに成功する。

「ホップウッド・ホールを守りたい」その一心で、輝かしいキャリアを捨てた著者の覚悟は並大抵のものではないと思う。人との繋がりを大切に、今なお懸命に取り組まれているプロジェクトの動向に今後とも目が離せない。
(竹田)

お知らせ

夏休み特別 おはなしの夕べ

夏休みの夕方、ろうそくの灯をともした部屋で、おはなしを聞いてみませんか。この日は特別に、大人の方も入っていただけます。 ※途中からは入れませんので、時間までにお越しください。

・日時：8月15日(金)

- ① 4歳以上～大人 18:00～
- ② 小学校高学年～大人 18:30～

・場所：太子町立図書館 おはなしの部屋

※8月の「おはなしの時間」は、
毎週土曜日、11:00～11:30に開きます。
(対象：4歳～中学生)

8月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

▶ ×印は休館日

- ・祝日の振替休館
8/13、9/17、9/24
- ・館内整理日
8/29
- ・特別館内整理日
9/29～10/6

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間：
10:00～18:00
※金曜日のみ
10:00～20:00

8月	9月	8・9月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
7日	11日			福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～ 15:50
14日	18日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
21日	25日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20	塚森 地域内 15:00～ 15:20	太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～ 16:20

< お知らせ >

13歳からの読書会

『ホメーロスのイーリアス物語』を読んで
(バーバラ・レオニ・ピカード/作 高杉一郎/訳 岩波書店)

- ・日時：8月17日(日)
14:00～15:30
- ・場所：太子町立図書館 読書会室
- ・対象：中学生から大人まで
- ・準備：当日までに本を読んできてください。
- ・申込：窓口または電話申込

地下水

目の治療でしばらく休んでいる間に、ある人から興味深い記事が送られてきた。
「図書館の蔵書冊数が人口1人当たり1冊増えると、その地域の要介護リスクが4%減少、10冊増えると34%減少：図書館や蔵書の充実といった文化財への公共投資が、健康長寿の街づくりにも有効である可能性も示唆する結果となった。」(一部抜粋)(産経新聞6月29日) というもの。

調査の内容にも結果にも驚いた。太子高校の生徒が「読書の効用」という調査の発表をしてくれたこともあるが、図書館の果たす効力を目に見える数字にすることは難しい。けれども、利用者を見てみると、前述の調査の通り、年齢にかかわらず好奇心が旺盛で、皆さん生き生きしておられる。それは、あの人こんな本をと、私たちの選書にも影響を与え、結果的に利用者や図書館員のつながりが図書館の蔵書を形作っていく。そして蔵書の質を保ち、より良いサービスを提供するのは、図書館で働く私たちだと改めて思う。

夏休みの真っ最中。この時期にしか図書館にやっこない子どもたちもいる。そんな子どもたちに、心に残る1冊を手渡したいと、今年も思っている。
(西村)